I 災害歴史遺産調査について

1、調査の対象

過去の災害の歴史を今に伝えているもの、例えば、記念碑、慰霊碑、顕彰碑などのモニュメントや構造物、災害遺構、災害を伝承する神仏像や神社仏閣などのほか、過去の災害に由来した祭りや行事などを含めて、「災害歴史遺産」として調査を行った。

また、水害や地すべり、高潮、地震などの自然災害に関するもののほか、水害と深い関係がある日本住血吸虫病に関するものも特に対象としている。日本住血吸虫病は、古くから筑後川の水害とともに、流域に住む多くの人々を苦しめてきた感染症(寄生虫病)で、水害や排水不良の対策と併せて、その撲滅に向けた闘いに官民挙げて取り組まれてきた。そのことを記している碑等は、水害とともに筑後川流域の歴史を今に伝える重要な災害歴史遺産と考えたからである。

なお、飢饉、鉱害、事故に関するもの、写真や絵画、映像、文書等は調査対象としていない。また、貴重な災害歴史遺産であっても、現に居住されている家屋はあえて掲載しなかった。

2、調査の目的

佐賀県内に現存する災害歴史遺産の位置、災害の発生年代や災害の種類、建立目的、記された碑文や伝承、由来等を調査することにより、時の経過とともに忘れられつつあるこれらのものを記録として残し、自分たちの住む地域の災害の歴史を知ることにより、地域における防災活動に役立ててもらうことを目的とした。

特に、碑に刻まれている碑文は年月の経過とともに風化摩耗し、年々判読が困難になってきており、当時の災害の実態や貴重な先人たちの教訓等が刻まれた碑文を記録しておくことに重点を置いた。

3、調査の方法

市町村史や郷土史などの文献調査を行う一方、現地調査に重点を置き、現地で確認できたものを掲載した。

そのほか、過去の災害などを参考に現地調査を行い、市町村史等文献に記録がないものであっても、実際に現地で確認できたものについて掲載した。

4、調査結果表の構成

(1) 番号 市町ごとに災害発生年代順に掲載し、一連の通し番号をつけた。発生年代が不明であるが、例えば、その地域が水害常襲地帯であったなど、地域の災害特性を示すものや感染症関係については一連の調査票の末尾に掲載した。

また、複数の災害を記録したものについては、最も新しい年、もしくは最も被害の大きかった年に分類した。

(2) 名 称

(3) 所在地

(4) 災害別 以下のとおり分類した。

- ・水 害 ・地すべり ・高 潮 ・暴 風
- ・豪 雪 ・地 震 ・旱 害 ・感染症(日本住血吸虫病)

なお、台風は、暴風、高潮、水害など、さまざまに発生した災害のうち、被害が最も大きかった災害に分類した。

また、地すべりを除く土砂災害は、水害に分類した。

(5) 目的別 以下のとおり分類した。

- ・記念碑 ・ ・ ・ 災害復旧・復興、河川・道路改修、耕地整理・土地改良の記念碑等
- ・慰 霊 ・ ・ ・ 慰霊碑、慰霊塔、供養塔、慰霊のための仏像等
- ・顕 彰 ・ ・ ・ 殉職者・功労者の顕彰碑
- ・遺 構 ・ ・ ・ 災害の痕跡を示すもの
- ・伝 承 ・ ・ ・ 災害の歴史を伝える神社・仏閣、神仏像、行事など
- ・その他 ・ ・ ・ 上記に分類できないもの

(6) 建立年代

(7) 特記事項

(8) 写 真 ・ ・ ・ 出来る限り最新の画像を掲載した。

(9) 本 文

碑文は現地調査で確認し、判読できたものを出来るだけ原文のまま掲載するよう努めた（ただし、略字やカタカナ文は本来の文字やひらがな文に変換した）。

なお、碑文を判読できないものや一部判読困難なものは、市町村史や郷土史などを参考または引用した。また、解説については、主に市町村史や郷土史等の文献、現地の説明板等を参考又は引用した。

(10) 位置図 ・ ・ ・ 国土地理院電子国土Webを利用した。

(11) 参 考 ・ ・ ・ 掲載した内容に関係があると思われるものについて、県外も含めて参考として掲載した。